

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	いばらきどうぶつ専門学校
設置者名	学校法人 正栄学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のあ る教員等によ る授業科目の 単位数	省令で定める 基準単位数	配 置 困 難
商業実務専門課程	愛犬美容学科	夜・ 通信	18単位	7単位	
	家庭犬訓練学科	夜・ 通信	18単位	7単位	
		夜・ 通信			
		夜・ 通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.iasc.ac.jp

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	いばらきどうぶつ専門学校
設置者名	学校法人 正栄学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.iasc.ac.jp

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	NPO 法人役員	令和7年6月20日 ～ 令和11年定時評議員会	「組織運営体制への チェック機能」 「経営計画の策定」
非常勤	国立大学法人名誉教授	令和7年6月20日 ～ 令和11年定時評議員会	「組織運営体制への チェック機能」 「経営計画の策定」
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	いばらきどうぶつ専門学校
設置者名	学校法人 正栄学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画書(シラバス)の作成過程及び時期 ・ 1 2 月 授業計画書(シラバス)(案)の内容を検討する。 ・ 2 月 授業計画書(シラバス)編成会議において授業計画書(シラバス)の内容を審議する。 ・ 3 月 授業計画(シラバス)の決定 ・ 3 月 授業計画(シラバス)の公表	
授業計画書の公表方法	https://www.iasc.ac.jp
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学則に則り、厳格かつ適正に成績評価及び課程修了の認定を実施する。 (成績評価) 第 1 1 条 授業科目の成績評価は、学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の 8 割に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。 (課程修了の認定) 第 2 0 条 第 1 1 条に定める授業科目の成績評価に基づいて、校長は課程修了の認定を行う。 具体的に、シラバスに記載された成績評価方法・基準のとおり、学習成果の評価を行い、これに基づき、厳格かつ適正に単位の授与又は履修の認定を行う。 成績評価の方法・基準は、履修科目毎の成績評価を行う。成績評価は、A (80 点～100 点)・B (70 点～79 点)・C (60 点～69 点)・D (60 点未満)とする。A・B・C は、合格とし、D は、不合格とする	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) ・あらかじめ設定した算出方法により、履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する。 (100点満点で点数化) ・成績評価の点数化により、学生の成績分布を把握する。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.iasc.ac.jp
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

学則に則り、厳格かつ適正に卒業の認定を実施する。

(目 的)

第1条 本校は、学生が動物専門職としての知識、技術及び倫理観を身につけ、有能な専門職業人として豊かな人間性を養い、個々人の持つ力を最大限に発揮できるよう支援することにより、将来にわたって動物業界を牽引する人材を育成することを目的とする。

(課程修了の認定)

第20条 第11条に定める授業科目の成績評価に基づいて、校長は課程修了の認定を行う。

2 所定の修業年限以上在学し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。

3 本校の課程修了の認定を受けるためには、次の各号に掲げる要件を全て満たさなければならない。

- (1) 卒業論文を本校が指定した期限までに提出すること。
- (2) 本校が指定した日時に卒業論文の発表を行うこと。
- (3) 第11条に定める卒業論文の成績評価の基準を満たすこと。
- (4) 学科ごとに本校が定める認定資格の全てを取得すること。

【卒業判定基準】

<愛犬美容学科>

取得必須資格：1 年次トリマー資格初級、2 年次トリマー資格中級

出席率：80%以上、卒業論文の成績評価基準を満たすこと

<家庭犬訓練学科>

取得必須資格：1 年次家庭犬訓練士資格初級、2 年次家庭犬訓練士中級

出席率：80%以上、卒業論文の成績評価基準を満たすこと

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://www.iasc.ac.jp>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	いばらきどうぶつ専門学校
設置者名	学校法人 正栄学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.iasc.ac.jp
収支計算書又は損益計算書	https://www.iasc.ac.jp
財産目録	https://www.iasc.ac.jp
事業報告書	https://www.iasc.ac.jp
監事による監査報告（書）	https://www.iasc.ac.jp

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		商業実務専門課程	愛犬美容学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	70 単位	11 単位				69 単位	
			単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
60 人		34 人	0 人	10 人	0 人		10 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画書（シラバス）の作成過程及び時期 ・12月 授業計画書（シラバス）（案）の内容を検討する。 ・2月 授業計画書（シラバス）編成会議において授業計画書（シラバス）の内容を審議する。 ・3月 事業計画（シラバス）の決定 ・3月 事業計画（シラバス）の公表
成績評価の基準・方法
（概要） 学則に則り、厳格かつ適正に成績評価及び課程修了の認定を実施する。 （成績評価） 第11条 授業科目の成績評価は、学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の8割に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。 （課程修了の認定） 第20条 第11条に定める授業科目の成績評価に基づいて、校長は課程修了の認定を行う。

具体的に、シラバスに記載された成績評価方法・基準のとおり、学習成果の評価を行い、これに基づき、厳格かつ適正に単位の授与又は履修の認定を行う。 成績評価の方法・基準は、履修科目毎の成績評価を行う。成績評価は、A（80 点～100 点）・B（70 点～79 点）・C（60 点～69 点）・D（60 点未満）とする。A・B・C は、合格とし、D は、不合格とする。			
卒業・進級の認定基準			
（概要） 学則に則り、厳格かつ適正に卒業の認定を実施する。 （目 的） 第 1 条 本校は、学生が動物専門職としての知識、技術及び倫理観を身につけ、有能な専門職業人として豊かな人間性を養い、個々人の持つ力を最大限に発揮できるように支援することにより、将来にわたって動物業界を牽引する人材を育成することを目的とする。 （課程修了の認定） 第 2 0 条 第 1 1 条に定める授業科目の成績評価に基づいて、校長は課程修了の認定を行う。 2 所定の修業年限以上在学し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。 3 本校の課程修了の認定を受けるためには、次の各号に掲げる要件を全て満たさなければならない。 （1） 卒業論文を本校が指定した期限までに提出すること。 （2） 本校が指定した日時に卒業論文の発表を行うこと。 （3） 第 1 1 条に定める卒業論文の成績評価の基準を満たすこと。 （4） 学科ごとに本校が定める認定資格の全てを取得すること。 【卒業判定基準】 取得必須資格：1 年次トリマー資格初級、2 年次トリマー資格中級 出席率：80%以上、卒業論文の成績評価基準を満たすこと			
学修支援等			
（概要） 各科目において、ハードルテストなどを通じて、各自の理解度をチェックするなど各教科で行っている。実習科目では、完成度や理解度を確認し、学生個々にあった指導を行っている。また、学生の相談受付（就学状況・就職、進学状況など）や面談を担当教師が中心に行い、学生を支援している。			

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
22 人 (%)	0 人 (%)	22 人 (%)	0 人 (%)
(主な就職、業界等) 動物病院、ペットサロン、ペットショップなど			
(就職指導内容) キャリア授業を実施する他、就職指導教員と担任教員、現役のプロ講師、教務主任によるクアッド体制で指導と支援を行っている。主な就職先となる企業・団体との本校			

独自のネットワークを組織し、会社説明会を実施している。
(主な学修成果（資格・検定等）） 公認トリマー 39名受験、39名合格
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
43人	4人	9%
(中途退学の主な理由) 経済困窮、目的意識の欠如、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 「欠席が多くなる」「成績が下がる」などの退学につながるサインを見逃さず、担当教師による個人面談の他、全職員が生徒の言動や行動に目を向け、声かけなどを行うことにより、退学者の減少を図っている。		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養		商業実務専門課程	家庭犬訓練学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	70 単位	11 単位				69 単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		55 人	0 人	10 人	0 人	10 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 授業計画書（シラバス）の作成過程及び時期 ・12月 授業計画書（シラバス）（案）の内容を検討する。 ・2月 授業計画書（シラバス）編成会議において授業計画書（シラバス）の内容を審議する。 ・3月 事業計画（シラバス）の決定 ・3月 事業計画（シラバス）の公表
成績評価の基準・方法

(概要) 学則に則り、厳格かつ適正に成績評価及び課程修了の認定を実施する。 (成績評価) 第11条 授業科目の成績評価は、学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の8割に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。 (課程修了の認定) 第20条 第11条に定める授業科目の成績評価に基づいて、校長は課程修了の認定を行う。 具体的に、シラバスに記載された成績評価方法・基準のとおり、学習成果の評価を行い、これに基づき、厳格かつ適正に単位の授与又は履修の認定を行う。 成績評価の方法・基準は、履修科目毎の成績評価を行う。成績評価は、A(80点～100点)・B(70点～79点)・C(60点～69点)・D(60点未満)とする。A・B・Cは、合格とし、Dは、不合格とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学則に則り、厳格かつ適正に卒業の認定を実施する。 (目的) 第1条 本校は、学生が動物専門職としての知識、技術及び倫理観を身につけ、有能な専門職業人として豊かな人間性を養い、個々人の持つ力を最大限に発揮できるよう支援することにより、将来にわたって動物業界を牽引する人材を育成することを目的とする。 (課程修了の認定) 第20条 第11条に定める授業科目の成績評価に基づいて、校長は課程修了の認定を行う。 2 所定の修業年限以上在学し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。 3 本校の課程修了の認定を受けるためには、次の各号に掲げる要件を全て満たさなければならない。 (1) 卒業論文を本校が指定した期限までに提出すること。 (2) 本校が指定した日時に卒業論文の発表を行うこと。 (3) 第11条に定める卒業論文の成績評価の基準を満たすこと。 (4) 学科ごとに本校が定める認定資格の全てを取得すること。 【卒業判定基準】 取得必須資格：1年次家庭犬訓練士資格初級、2年次家庭犬訓練士資格中級 出席率：80%以上、卒業論文の成績評価基準を満たすこと
学修支援等
(概要) 各科目において、ハードルテストなどを通じて、各自の理解度をチェックするなど各教科で行っている。実習科目では、完成度や理解度を確認し、学生個々にあった指導を行っている。また、学生の相談受付(就学状況・就職、進学状況など)や面談を担当教師が中心に行い、学生を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
24 人 (%)	人 (%)	24 人 (%)	人 (%)
（主な就職、業界等） しつけ教室、ドッグカフェ、飼育員、ペットショップ、動物介在福祉施設など			
（就職指導内容） キャリア授業を実施する他、就職指導教員と担任教員、現役のプロ講師、教務主任によるクアッド体制で指導と支援を行っている。主な就職先となる企業・団体との本校独自のネットワークを組織し、会社説明会を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 公認家庭犬訓練士 51 名受験、51 名合格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
52 人	1 人	1%
（中途退学の主な理由） 経済困窮、目的意識の欠如、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 「欠席が多くなる」「成績が下がる」などの退学につながるサインを見逃さず、担当教師による個人面談の他、全職員が生徒の言動や行動に目を向け、声かけなどを行うことにより、退学者の減少を図っている。		

②学校単位の情報

a)「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
愛犬美容 学科	200,000 円	540,000 円	777,000 円	道具代/230,000 円、 施設管理費/180,000 円、 実習費/300,000 円、 交友費/67,000 円 ※別途飼育費/35,000 円 (学校所有の犬を自宅で飼育 する学生のみ) ※選択看護実習/80,000 円 (希望する学生のみ)
家庭犬訓 練学科	200,000 円	540,000 円	777,000 円	道具代/210,000 円、 施設費/180,000 円、 実習費/300,000 円、 校外費/67,000 円 ※別途飼育費/35,000 円 (学校 所有の犬を自宅で飼育する学 生のみ ※選択看護実習/80,000 円 (希望する学生のみ)
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.iasc.ac.jp
第三者評価の基本方針（実施方法・体制） 学校自ら自己評価を行うとともに、企業や業界団体、卒業生等の中から公平に学校関係者評価委員を選定し、適正な学校関係者評価を実施する。学校関係者評価結果に基づき、今後の改善方策等についてとりまとめ、広く公表するとともに、学校はこれを自己評価の改善方策の検討において活用し、次年度の重点目標の設定や具体的取組の改善を図る。 【評価項目】 ・ 自己評価の結果の内容が適切かどうか ・ 自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか ・ 学校の重点目標や自己評価の評価項目等が適切かどうか ・ 学校運営の改善に向けた実際の取組が適切かどうか
第三者評価の委員

所属	任期	種別
保護者	2026 年 4 月 1 日 ～2028 年 3 月 30 日	保護者
ペットサロン 店長	2026 年 4 月 1 日 ～2028 年 3 月 30 日	卒業生
第三者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.iasc.ac.jp		
(備考)		
第三者評価が未実施であり、経過措置として学校関係者評価の内容を記載		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.iasc.ac.jp
--